

本書は、平成 18 年度に当財団が農林水産省農村振興局の補助により実施した「農村振興整備調査推進事業（Ⅰ 地域資源の保全・活用に向けた施策の調査・検討）」の成果をとりまとめたものである。

農村振興整備調査推進事業の事業趣旨は以下のとおりである。

「これまでの農村振興整備は、地域の農業の健全な発展と豊かで住みよい農村を目指し、農業生産の基盤の整備と交通、情報通信、衛生、教育、文化等の生活環境の整備その他の福祉の向上を総合的に推進することを重要な柱としてきた。

しかしながら、平成 17 年 3 月に策定された新たな基本計画において、「国民のゆとり、安らぎ、心の豊かさなど価値観の変化の中で、国民全体の生活を支える共有の財産とも言える農村の振興に当たっては、これまでのように都市との格差を是正するという画一的な考え方から、地域の個性・多様化を重視する形に転換する」との基本方針の下、

- ① 地域資源の保全管理政策の構築
- ② 農村経済の活性化
- ③ 都市と農村の共生・対流と多様な主体の参画の促進
- ④ 快適で安全な農村の暮らしを実現

に向けて施策を展開することとされたところである。

特に、農地・水、自然環境、景観、農村文化などの地域資源については、農家の高齢化、農村の過疎化や混住化によって、その適切な保全管理が困難になってきており、これらの資源を適切に管理し、農村振興に活用していくための新たな施策の構築が喫緊の課題となっていることを踏まえ、平成 18 年度において、地域資源の保全・活用施策について重点的に調査・検討を進める。」

本調査は、以上の趣旨を受け、農地・水、自然環境、景観、農村文化などの地域資源の保全・活用に関する調査を実施するものである。

本調査のとりまとめに際しては、当財団の川口友子客員研究員（前神戸大学 学術推進研究員）のご協力をいただいた。

なお、末尾ながら本調査の実施にあたり、終始ご指導をいただき、調査の実施にご尽力頂いた委員会の先生方、アンケート調査にご協力頂いた方々に、心から深く感謝しお礼を申し上げる次第である。

平成 21 年 3 月
財団法人農村開発企画委員会

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	2
4 調査のスケジュール	5
農村振興モニターの登録状況と属性	7
農村振興モニターを対象としたアンケート調査の結果	11
1 アンケートの回収状況	12
2 回答者の属性	13
3 地域資源の評価	19
4 地域資源の役割と現状	21
5 地域資源の保全活用の主体と参加	23
6 地域資源の保全活用に向けた活動の支援	26
7 まとめ	28
都市的地域（神奈川県横浜市戸塚区舞岡地区）を対象としたアンケート調査の結果	31
1 モデル地区の概要	32
2 回答者の属性	42
3 地域資源の評価	48
4 地域資源の役割と現状	50
5 地域資源の保全活用の主体と参加	52
6 地域資源の保全活用に向けた活動の支援	55
7 まとめ	57

山間農業地域（京都府南丹市美山町宮島地区）を対象としたアンケート調査の結果	61
1 モデル地区の概要	62
2 回答者の属性	70
3 地域資源の評価	76
4 地域資源の役割と現状	78
5 地域資源の保全活用の主体と参加	80
6 地域資源の保全活用に向けた活動の支援	83
7 まとめ	85
総括	89
1 アンケート調査結果のまとめ	89
2 今後の課題	92
参考資料 アンケート調査票	93